

2019年6月28日

報道各位

**日本最大級のクリエイティビティの祭典
「2019 59th ACC TOKYO CREATIVITY AWARDS」
4部門の応募受付を7月8日まで延長**

～ マーケティング・エフェクティブネス部門、ブランデッド・コミュニケーション部門、
メディアクリエイティブ部門、クリエイティブイノベーション部門が対象 ～

一般社団法人 ACC（英文名：All Japan Confederation of Creativity、東京都港区、理事長：高田坦史）は、あらゆる領域のクリエイティブを対象とした、「2019 59th ACC TOKYO CREATIVITY AWARDS」(<http://www.acc-awards.com/>)において、マーケティング・エフェクティブネス部門、ブランデッド・コミュニケーション部門、メディアクリエイティブ部門、クリエイティブイノベーション部門の4部門の応募受付を、2019年7月8日(月)18時まで延長することといたしました。
※フィルム部門、ラジオ&オーディオ広告部門の応募受付は当初発表通り7月3日(水)18時までです。



2019 59th ACC TOKYO CREATIVITY AWARDS

エントリー期間延長決定！

マーケティング・エフェクティブネス部門
ブランデッド・コミュニケーション部門
メディアクリエイティブ部門
クリエイティブイノベーション部門

受付期間
2019年7月8日
18:00まで

作品の応募は、「ACC TOKYO CREATIVITY AWARDS」特設サイトにてユーザー登録後、マイページよりご応募いただけます。

入賞作品は、10月2日(水)に同特設サイトにて発表、11月1日(金)の贈賞式・記念パーティにて表彰いたします。

各部門の審査委員長メッセージおよび審査委員紹介等、詳細は下記の通りです。



「2019 59th ACC TOKYO CREATIVITY AWARDS」概要

【スケジュール（予定）】

- エントリー期間 : 2019年6月3日（月）10:00～7月8日（月）18:00まで
※フィルム部門、ラジオ&オーディオ広告部門は7月3日（水）18:00まで
- 入賞作品発表 : 2019年10月2日（水）
- 贈賞式・記念パーティ : 2019年11月1日（金）

【部門構成および参加資格】

■フィルム部門

- ・A カテゴリー（テレビCM、地域テレビCM）

2018年7月1日～2019年6月30日までの間に、一般社団法人日本民間放送連盟に加入している放送局において初放送されたCMが対象。

- ・B カテゴリー（Online Film）

2018年7月1日～2019年6月30日までの間に、Web上で公開されている映像広告。
初公開日は問わない。

■ラジオ&オーディオ広告部門

- ・A カテゴリー（ラジオCM、地域ラジオCM）

2018年7月1日～2019年6月30日までの間に、一般社団法人日本民間放送連盟に加入している放送局において初放送されたCMが対象。

- ・B カテゴリー（オーディオ広告）

2018年7月1日～2019年6月30日までの間に、日本国内で放送・公開されたもの。
広告を目的に、ミニFMやインターネット、イベント・展示会等で放送・公開された音声コンテンツが対象。

■マーケティング・エフェクティブネス部門

以下のいずれか1つ以上の施策を行っていること。

- ・2018年7月1日～2019年6月30日の間に、一般社団法人日本民間放送連盟に加入している放送局においてテレビCM、またはラジオCMが放送されたキャンペーン施策。
- ・2018年7月1日～2019年6月30日の間に、ムービー、サウンドコンテンツ、新聞・雑誌、Web、イベント等で展開したキャンペーン施策。

※継続中のキャンペーンであれば、過去にエントリー歴のあるものも応募が可能です。

ただし、過去にエントリーした際と、「成果」の違いを明確に示してください。

■ブランデッド・コミュニケーション部門

2018年6月1日～2019年6月30日の間に、ローンチもしくは、リニューアルし展開されたブランデッド・コミュニケーション（広告/キャンペーン/ブランデッド・コンテンツ）が対象。

※2018年6月1日～6月30日の作品は、昨年応募されていないことが条件です。

※複数の部門、カテゴリーへの応募は可能です。

・A カテゴリー：デジタル・エクスペリエンス

デジタルテクノロジーを活用した表現における卓越したデザインと優れたユーザーエクスペリエンス、クリエイティビティとクラフトマンシップを表彰します。

・B カテゴリー：プロモーション/アクティベーション

商品やサービスの購入や利用に対して、ターゲットの積極性を促すことができた最も新しく創造的なアイデアを表彰します。

・C カテゴリー：PR

社会やコミュニティにおいて新たな合意形成を図ることで、ブランドと生活者の間の信頼関係を築き、生活者の意識や態度を変容させたプロジェクトを表彰します。

・D カテゴリー：デザイン

ブランドアイデンティティの定義や、ブランドメッセージの認識や理解に強く機能したビジュアル表現のクラフトマンシップとクリエイティブ性を表彰します。

■メディアクリエイティブ部門

2018年6月1日～2019年6月30日の期間に実施された（放送・出稿等された）、メディアのアセットを活用した仕掛けや取り組み。

※2018年6月1日～6月30日に実施されたものについては、昨年応募されていないことが条件となります。

■クリエイティブイノベーション部門

未来を創り出す、世の中を動かす可能性のあるアイデアとテクノロジーとの掛け算で産み出されたプロダクト&サービスと、プロトタイプ。

※上市または社会実装、ローンチの時期は問いません。

昨年エントリーしたものでも応募が可能です。その場合は、従前のものとの違いや差分を明らかにしてください。



【審査委員長】

■フィルム部門：

多田 琢（TUGBOAT／クリエイティブディレクター、CMプランナー）

■ラジオ＆オーディオ広告部門

嶋 浩一郎（博報堂 執行役員 兼 博報堂ケトル代表取締役社長 クリエイティブディレクター）

■マーケティング・エフェクティブネス部門

小和田 みどり（ライオン／コミュニケーションデザイン部 部長）

■ブランデッド・コミュニケーション部門

菅野 薫（電通、Dentsu Lab Tokyo／エグゼクティブ・クリエーティブ・ディレクター）

■メディアクリエイティブ部門

筋内 道彦（クリエイティブディレクター／東京藝術大学学長特別補佐・美術学部デザイン科教授）

■クリエイティブイノベーション部門

暦本 純一（東京大学 教授／ソニーコンピュータサイエンス研究所 副所長）

<各部門の審査委員紹介>

URL：<http://www.acc-awards.com/juries2019/>

<「ACC TOKYO CREATIVITY AWARDS」特設サイト>

URL：<http://www.acc-awards.com/>

<主催：一般社団法人 ACC>

URL：<http://www.acc-cm.or.jp/>



【ACC TOKYO CREATIVITY AWARDS とは】

「ACC TOKYO CREATIVITY AWARDS」は、テレビ、ラジオ CM の質的向上を目的に、1961 年より開催されてきた広告賞「ACC CM FESTIVAL」を前身とし、2017 年よりその枠を大きく拡げ、あらゆる領域におけるクリエイティブを対象としたアワードにリニューアルしました。

名実ともに、日本最大級のアワードとして広く認知されており、総務大臣賞／ACC グランプリは、クリエイティブにたずさわる人々の大きな目標となっています。

【ACC とは】

一般社団法人 ACC は、よい CM の制作と放送の実現に寄与することを目的として、1960 年に公益法人として設立。2013 年に一般社団法人へと移行しました。

ACC は、広告主・広告会社・制作会社・メディアの 4 業種のメンバーを中心に構成され、業種の枠を超え、グローバルな視点から日本のクリエイティビティの発展に貢献すべく活動しています。

本件に関するお問い合わせ

〒105-0003 東京都港区西新橋 2-4-2 西新橋安田ユニオンビル 6F

TEL : 03-3500-3261 FAX : 03-3500-3263 URL : <http://www.acc-cm.or.jp>

一般社団法人 ACC 担当：平川